



## 本検討の概要

- 近年、地球温暖化などの気候変動により豪雨等の発生頻度が高くなっている傾向にあります。これにより、計画規模を上回る洪水(超過洪水)が発生する恐れが高まっています。
- 本検討は、「香川地域継続検討協議会」(会長：香川大学危機管理研究センター長)と連携し、土器川で大規模河川氾濫が発生した際の被害想定や対策等及び「水災害に適應した強靱な社会」作りの方向性についてとりまとめるとともに、香川県内における「水災害に適應した強靱な社会」作りの方向性のとりまとめに資するものです。
- そのため、土器川氾濫地域の関係機関がメンバーとなり、「大規模水災害に適應した対策検討会」を設置するとともに、意見集約の場として土器川氾濫地域の住民が集まり、意見交換するワークショップを開催します。

### ● 香川地域継続検討協議会（既存会議）

- ・メンバー 国地方支分部局、香川県、高松市、坂出市、経済団体、香川大学、インフラ各社等
- ・設立 平成24年5月31日

↑ 「とりまとめ書(案)」の提出

### ● 大規模水害に適應した対策検討会

- ・メンバー 香川大学危機管理研究センター、香川県中讃土木事務所、丸亀市、まんのう町、坂出市、普通寺市、宇多津町、琴平町、香川県防災士会、四国地方整備局香川河川国道事務所

↑ 意見集約

### ★ 大規模水害対策ワークショップ (WS)

- ・メンバー 土器川氾濫地域住民、香川大学危機管理研究センター、香川県中讃土木事務所、丸亀市、まんのう町、坂出市、普通寺市、宇多津町、琴平町、香川県防災士会、四国地方整備局香川河川国道事務所

~~~~ 大規模水害対策ワークショップの流れ ~~~~

|        | 情報の共有                                                       | 意見出しのテーマ                                                         |
|--------|-------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|
| 第1回 WS | 被害想定（堤防決壊を想定）<br>被害の内容（どこで何が起こるか）                           | いろいろな立場から被害の内容に応じて、 <b>困ることを抽出</b>                               |
| 第2回 WS | 大規模災害が発生した際に行われる一般的な活動の内容                                   | <b>困ることの掘り下げ</b> （左記の活動で困ることに対応できるのか）<br>地域の生き残りの <b>アイデアを抽出</b> |
| 第3回 WS | 土器川の大規模水害に対する地域機能継続案（適応策案）を作成・提示<br>適応策の効果分析結果（対策前と対策後の比較図） | <b>アイデアの掘り下げ</b> （“水害に強いまち”に成り得るのか）<br>事前～応急～復旧復興対策              |

## ワークショップの概要

### ◆ワークショップの位置付け

- 大規模水害発生後の“地域の生き残り計画”について、“住民目線”で議論する先進的な取り組みです。
- 大規模水害に着眼し、“上下流の地域が一体”となって広域的に議論する“全国でも初めて”の取り組みです（ワークショップは全3回開催します）。

### ◆ワークショップのねらい

- 土器川流域において、“水害に強いまちづくり”を目指した流域・地域で一体となった大規模水害対策を推進していきます。

8/31実施

## ワークショップ等に関する詳しい情報はこちら・・・

本検討の運営要領や規約、検討の詳しい内容、今後のワークショップの開催案内や開催報告などの情報は、以下のアドレスから閲覧することができます。



香川河川国道事務所ホームページから、左のバナーをクリックしても閲覧できます。

<http://www.skr.mlit.go.jp/kagawa/river/daikibosuigai/index.html>

「大規模水災害に適應した対策検討」, 「大規模水害対策ワークショップ」に関するお問い合わせは・・・



国土交通省四国地方整備局  
香川河川国道事務所 <http://www.skr.mlit.go.jp/kagawa/>  
〒760-8546 高松市福岡町4-26-32  
TEL : 087-821-1623 (計画課直通) FAX : 087-821-1713



# 「第2回大規模水害対策ワークショップ」を開催しました

- 平成25年8月31日（土）に地域住民等約120名が集まり、「第2回大規模水害対策ワークショップ」を丸亀市民会館（中ホール）にて開催しました。
- ワークショップ参加者の皆様により、土器川における大規模な水害が発生したときの被害想定に基づく、多くの意見について議論いただきました。
- 第2回ワークショップ開催の様子や検討内容等について、ご報告します。



## 第2回ワークショップの内容

### ◆第2回ワークショップ検討のテーマ

- 緊急活動（災害発生直後に防災関係機関が緊急に行う活動）の内容を透明シートに具体化することで情報を共有しました。
- 緊急活動内容を踏まえ、大規模水害時に困ることの掘り下げをしました。
- 各地域での“特に困ること”を踏まえ、地域の生き残りのアイデアを抽出しました。

### 【検討その①：透明シートで検討しました】

- ◆ 土器川における超過洪水時の最大浸水深図を使用し、緊急活動の内容を図示し“どこで何が行われるか”を透明シートに具体化しました。



透明シート（図面）の一例

### 【検討その②：意見カードで検討しました】

- ◆ 緊急活動内容を踏まえ、緊急活動が行われても不十分な「被災直後に“特に困ること”」について議論しました。

### 【検討その③：意見カードで検討しました】

- ◆ 各地域での“特に困ること”を踏まえ、困ることに対するアイデアについて、備え・被災直後・その後の時点ごとに議論しました。



透明シートでの検討の様子



意見カードでの検討の様子

特に困ることとそれに対するアイデアを意見カードに記入しました



意見カードの一例

### ◆第2回ワークショップ検討を実施して……………

- ◆ 各地域（テーブル）での“特に困ること”について数多くの意見が出されました。  
＜例えば＞
  - ・病院等の重要施設（避難所、排水施設等）が浸水して使用できなくて困る、 etc
  - ・災害時要援護者の避難方法・体制等をどうすればいいかわからず困る、 etc
  - ・主要道路が浸水して使用できなくて困る（避難、通勤、救助等）、 etc
- ◆ “困ることに対するアイデア”について数多くの意見が出されました。  
＜例えば＞
  - ・排水施設の充実、排水ポンプ車の確保、新たな避難所の指定、 etc
  - ・避難訓練・教育の実施、避難経路の確保、水害時移動用ボートの確保、 etc
  - ・主要道路の嵩上げ、土のうの準備、堤防強化、防災情報提供手法の改善、 etc